

## シャッター等のある被災家屋の災害調査再検証結果について

昨年4月発生した熊本地震において実施した被災家屋の1次調査について、シャッター等の開口部を、外周基礎長に含めて損害割合を算出し割合が低く算出されているのではないかと指摘を受けました。

由布市としては、当該開口部の取り扱いについて判定区分への影響が否定できないことから1次調査件数1,778件のすべてについて、さらに2次調査件数178件のすべてについても、シャッター、農家用住宅兼倉庫等の開口部のある家屋の抽出作業を行い、必要に応じて現地調査を実施。抽出後は、大きな開口部が含まれているのかいないのかを確認し、含まれている場合は除いて再計算を行い、判定区分に影響するかどうか再検証を行いました。

再検証の結果、判定区分が変更になった家屋はありませんでしたので報告いたします。

なお、再検証の結果についてご不明な点等ある被災者の方につきましては、税務課へお問い合わせいただきたいと思いますし、現在も2次調査、再調査を行っておりますので、申請していただければ対応してまいります。

- |  |        |
|--|--------|
| 1. 第1次調査再検証結果 総件数  | 1,778件 |
| (1) 調査票、写真、図面から、明らかに大きな開口部が無いと判断できる家屋及び判定区分に影響を及ぼさない家屋   | 1,627件 |
| (2) 調査票、写真、図面から、外周基礎長にシャッター等開口部を含めていないことが確認できた家屋。        | 18件    |
| (3) 調査票、写真、図面から、外周基礎長にシャッター等開口部が含まれていたのを除いて損傷率を再計算した家屋。  | 99件    |
| (4) 調査票、写真、図面では、シャッター等開口部が有るか無いか確認できなかったため、現地調査をおこなった家屋。 | 34件    |
| ※ 現地調査をおこなった家屋の内、明らかに大きな開口部が無いと判断できる家屋。                  | 30件    |
| ※ 現地調査をおこなった家屋の内、外周基礎長にシャッター等開口部が含まれていたのを除いて損傷率を再計算した家屋。 | 4件     |

裏面あり

2. 第2次調査再検証結果 総件数	178件
(1) 調査票、写真、図面から、明らかに大きな開口部が無いと判断できる家屋及び判定区分に影響を及ぼさない家屋	157件
(2) 調査票、写真、図面から、外周基礎長にシャッター等開口部を含めていないことが確認できた家屋。	5件
(3) 調査票、写真、図面から、外周基礎長にシャッター等開口部が含まれていたのを除いて損傷率を再計算した家屋。	13件
(4) 調査票、写真、図面では、シャッター等開口部が有るか無いか確認できなかったため、現地調査をおこなった家屋。	3件
※ 現地調査をおこなった家屋の内、明らかに大きな開口部が無いと判断できる家屋。	3件
※ 現地調査をおこなった家屋の内、外周基礎長にシャッター等開口部が含まれていたのを除いて損傷率を再計算した家屋。	0件